道の駅長祭り

■あすぱる大崎

11月23日（火）、『あすぱる大崎』において道の駅長祭りが行なわれました。

口蹄疫で疲弊した地域を盛り上げようと、物産館出荷協議会が中心となり計画されたもので、集客拠点である『あすぱる大崎』で『ふれあいフェスタ』と同日に開催されました。

あすぱる大崎周辺には、地元の特産品や屋台が立ち並び、賑わいを見せました。

祭りのメインは、本マグロの解体ショーです。

解体される本マグロは、重量約60kg。前日に、長崎港で水揚げされたものを、冷凍せずにそのまま入荷したもので鮮度抜群です。

『あすぱる大崎』支配人の楠原秀尉さんが、本マグロを見事な包丁さばきで切り分けると、来場者から歓声が上がりました。

大トロ、中トロ、赤身など、その他各パーツにさばき、即売及びその場で寿司職人が握り寿司にして販売しました。

この駅長祭りは、定期的に実施する予定だそうで、支配人の楠原さんは、「元気なあすぱる、元気な大崎をPRしていきます。」と意気込みを話されました。